

# 養育院の周年史 その2

宮本孝一 老年学情報センター



櫻園通信 80 令和5年2月  
東京都健康長寿医療センター  
養育院・渋沢記念コーナー  
連絡先: 老年学情報センター

70周年 1942(昭和17)年

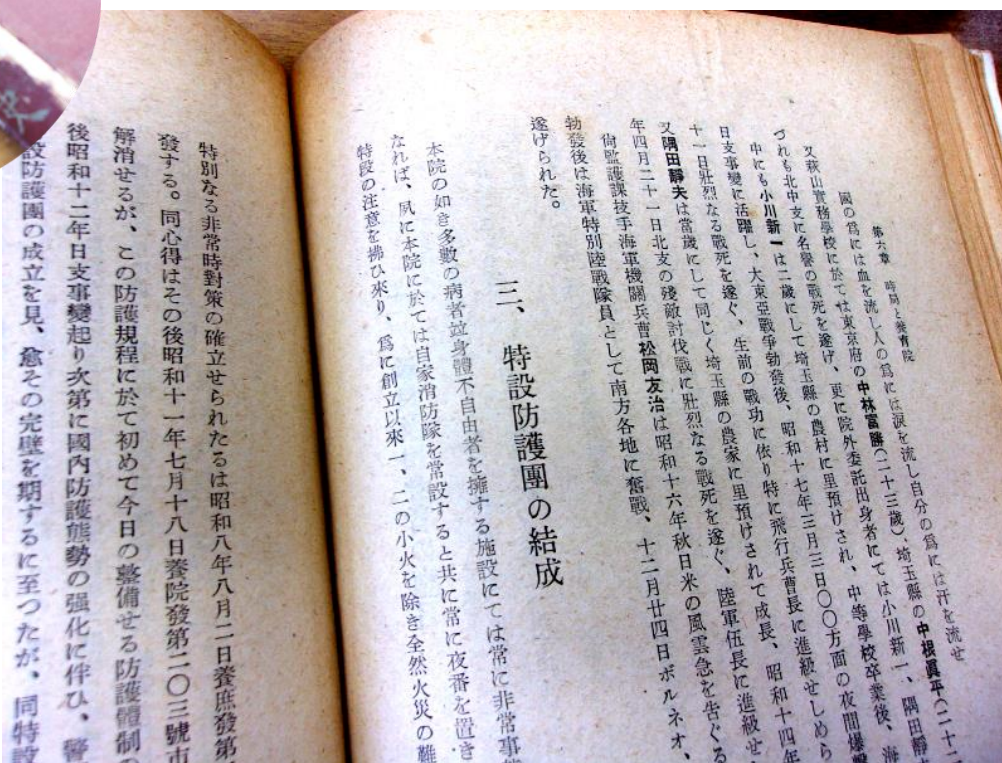
記念式典開催、翌年『養育院七十年史』刊行。前年に日米開戦。

## 5つの周年史② 養育院七十年史



1943(昭和18)年発行 東京市養育院編。太平洋戦争開戦の2年後の昭和18年に刊行。その年、連合軍の反抗が本格化し、国内では国民の招集や勤労働員が拡大された。東京では府・市が廃止され都政が施行された。

『七十年史』は、戦時中の用紙制限や経費節減のため他の年史にくらべ小ぶりの製本で、紙質もあまりよくない。昭和7年度から昭和16年度までの10年間について、社会事業史の観点ではなく事務参考資料として簡略にまとめるという編集方針だった。本書では、労働力不足と収容者の減少・養育院事業の拡大・空襲に備える防護体制づくりといった、日米開戦前後の養育院の様子を知ることができる。



## 80周年 1952(昭和27)年

記念式典開催 翌年『養育院八十年史』刊行。栃木分院閉鎖 練馬分院創立五周年記念式典。

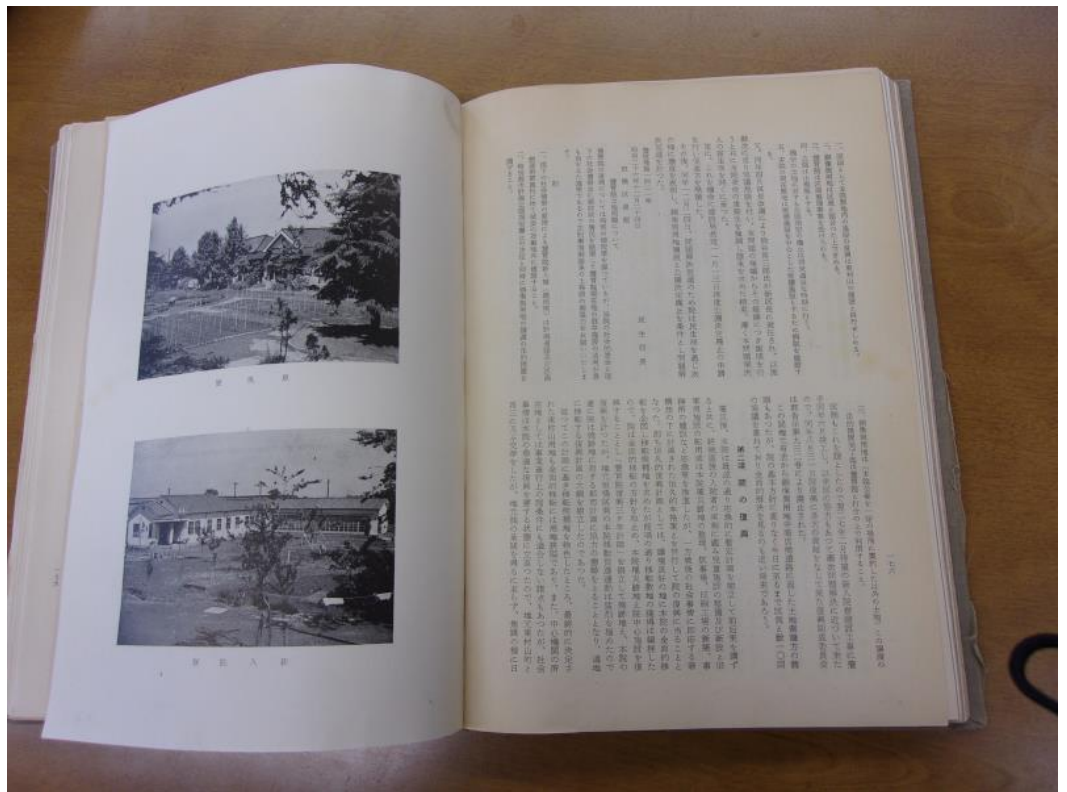
1950(昭和25)年、国内は戦後の混乱期から復興期へ移行。



### 5つの周年史③ 養育院八十年史

1953(昭和28)年発行 東京都養育院編。

戦後の大転換期に重点を置いてまとめられた。序文で「戦災及び終戦時の混乱のため資料の散逸したものもあり、又諸種の制約もあって、割愛を余儀なくされた部分も決して少しとしないので十全のものとはいえない」と書かれており、戦争で多くの記録文書が失われたことがわかる。しかし「達、告示及び上申書によって当時の状況を語らせる」という編集方針で関係資料を網羅的に取り上げており、引用や統計表が多く、終戦直後からの養育院再建の動向を知る上で重要な文献となっている。



## 90周年 1962(昭和37)年

記念式典・記念刊行物なし。東京オリンピック開催にむけ都予算は公共投資に重点。養育院予算は縮減。

1955(昭和30)年から長期の好況が始まる(高度経済成長期)。